

< 研究会のご案内 >

2007 年度・美術科教育学会第2回東地区研究会 in Chiba(聖徳大学)

テーマ「美術鑑賞教育を考える」

日時: 2007 年 10 月 27 日(土)13:00~17:00

会場: 聖徳大学

(千葉県松戸市岩瀬 550)常磐線松戸駅下車徒歩 5 分

<上野駅より 20 分 >

テーマについて

この度は、幼児から成人までの鑑賞教育について再考してみようということから、平凡と思われるようなテーマにしました。学校教育を終わった人々の多くが美術の鑑賞者になるのだとすれば、学校教育においては必然的にそれらの人々に感謝される鑑賞教育が十分に在学中になされていなければなりません。そのことをふまえて遠藤友麗先生は、学校美術教育と社会教育の場における鑑賞教育の課題という視点から、学校主体の鑑賞教育と学校で鑑賞教育を行う意義について取り上げます。小泉卓先生は、対話型鑑賞教育について実践を通して考えたことについて論じ、仲瀬律久先生は、幼児期からの鑑賞教育についての提案、大成哲雄先生は新潟県で開催された「越後妻有アートトリエンナーレ」における開かれた鑑賞教育、長谷川晶子、島田由紀子両先生は「美術鑑賞と環境」ということから、聖徳学園の美術環境について説明します。

< 研究会次第 >

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:00~13:05 | 開式・挨拶(仲瀬)                               |
| 13:05~13:35 | 美術教育におけるこれからの鑑賞教育(遠藤友麗)                 |
| 13:35~14:05 | 対話型鑑賞教育の取り組みから<br>対話の意味と鑑賞教育への位置づけ(小泉卓) |
| 14:05~14:35 | 幼児の鑑賞教育への提言(仲瀬律久)                       |
| 14:35~15:05 | 開かれた鑑賞教育:越後妻有アートトリエンナーレ(大成哲雄)           |
| 15:05~15:35 | 美術鑑賞と環境(聖徳学園の場合)(長谷川晶子・島田由紀子)           |

< 休憩 >

- |             |            |
|-------------|------------|
| 15:45~16:55 | 協議会(司会・仲瀬) |
| 16:55~17:00 | 閉会の辞(長谷川)  |

\* 問い合わせ先: 小泉 卓(こいずみ・たかし) E-mail [koizumi@seitoku.ac.jp](mailto:koizumi@seitoku.ac.jp)

参加形式: 自由参加・無料

松戸駅から聖徳大学までの道筋です。

\* 発表者

- 仲瀬律久(聖徳大学教授)  
遠藤友麗(聖徳大学教授)  
小泉 卓(聖徳大学教授)  
長谷川晶子(聖徳大学准教授)  
大成哲雄(聖徳大学講師)  
島田由紀子(聖徳大学講師)

